

第 10 回 大和北道路有識者委員会

議 事 要 旨

1. 日 時 平成 15 年 4 月 25 日 (金) 14:00 ~ 17:30

2. 場 所 奈良県新公会堂 レセプションホール

3. 出席者

委 員 長	近畿大学経営学部商学科	教授	斎藤 峻彦
委 員	京都大学大学院工学研究科	教授	飯田 恭敬
	京都大学大学院工学研究科	教授	小林 潔司
	奈良女子大学	名誉教授	近藤 公夫
	(財)元興寺文化財研究所	所長	坪井 清足
	神戸大学大学院法学研究科	教授	山下 淳

(五十音順)

4. 議 事

第 8 回委員会の論点、及び前回委員会の報告について、内容確認を行いました。

- 第 8 回有識者委員会の議事要旨
- 第 9 回有識者委員会（現地視察）の報告

ヒアリングの今後の予定（案）について事務局が説明しました。

- ヒアリングの今後の予定について（案）

上記に関して次のような議論がありました。

- ・ 事務局で日程の確定に向け調整する。
- ・ インタビューについては、小林委員、山下委員にご担当いただく。

以下の方々からご意見を頂き、第 3 回目のヒアリングを実施しました。

- 奈良教育大学 名誉教授 西田史朗様
大和北道路について地質学の立場からコメント
 - ・ 問題点：平城宮跡に埋蔵される文化財への影響
 - ・ 奈良盆地北部丘陵の地質
 - ・ 平城宮跡の地質
 - ・ 平城宮跡の地下水
 - ・ 地下水検討委員会報告書への疑義
 - ・ まとめ（「中央エリア 案」改良案を提案）
- 京都府立大学 人間環境学部 助教授 宗田好史様
大和北道路について世界遺産に関する立場からのコメント
 - ・ 世界文化遺産条約締約国・日本の果たすべき義務について

- ・世界文化遺産「古都奈良の文化財」について、大和北道路のルート選定に当たって、開発と保存の上から、ご考慮いただきたい点について
 - ・世界遺産と社会資本整備との共存についての見解
 - ・世界遺産の中で「古都奈良の文化財」として、特に認識していただきたいこと
 - ・世界遺産を通じた国際交流について
- 高速道路から世界遺産・平城京を守る会 代表委員 井上寛様
- 世界遺産都市・奈良に高速道路はいらない
- ・平城宮跡出土の木簡が重要文化財に
 - ・大和北道路についての私たちの態度と主張
 - ・大和北道路問題が、なぜ、全国的世界的問題になったのか
 - ・21世紀の奈良県のまちづくりと古都奈良の役割
 - ・大和北道路は、奈良市にとって”打出の小槌”か

近藤委員から、以下の資料を用いて、景観と植生について説明がありました。

- 景観と植生
- ・平城宮大極殿跡からの眺望
 - ・復元朱雀門周辺からの眺望
 - ・平城京当時の植生
 - ・平城宮周辺の修景と緑化

公聴会の実施について事務局が説明しました。

- 公聴会の実施について（案）

上記に関して次のような意見がありました。

- ・公述人は14人に決定
- ・公述意見要旨を公聴会資料とするに当たって、個人情報の問題もあり掲載については公述人ご本人に確認した上で、ワープロ打ちを原則として公表する

意見把握の状況及び寄せられた意見の分類整理について、アンケートの実施状況、意見の分類整理の手順等について、事務局から説明がありました。

上記に関して次のような議論がありました。

- ・委員からアンケートの解析方法等について意見をいただき、次々回に議論をする。
- ・自由意見については全文目を通したい。

- 次回委員会について

- ・5月10日（土）に公聴会を実施する

以 上